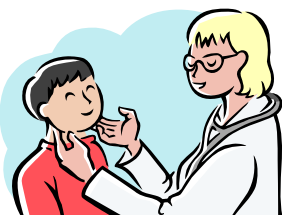


第3回地域医療と健康生活を守るためのシンポジウム

— みんなで取り組む地域医療づくり —

～ 参加無料・申込み不要 託児あり ～

日時 平成22年9月5日(日) 午後1時～3時30分



場所 アイプラザ津島(愛知県津島勤労福祉会館) 講堂

愛知県津島市莪原町字椋木5番地 TEL (0567)24-1135

【基調講演】

I. 「地域医療を守りたい～住民としてできること～」:

丹生裕子氏(県立柏原病院の小児科を守る会代表)

II. 「住民と医療者が守る地域小児医療 —兵庫県立柏原病院小児科の事例—」:

和久祥三氏(兵庫県立柏原病院小児科医長)

私たちが健康的な生活を送るために、欠かすことのできない「地域医療」。医師不足等を背景に、全国的に、この地域医療が危機に瀕しています。

地域医療を守ることは、医療関係者だけではなく、地域住民一人ひとりの課題でもあり、文字どおり地域全体の課題です。地域医療を守るための方策に、画一的な答えはありません。今、様々な場所で、様々な形で、この地域医療を守るための取り組みが始まっています。

私たちの暮らす、この海部地区の地域医療を守り育てていくために、住民として、医療関係者として、何をすべきか、何ができるかを、いっしょに考えてみませんか。

《主催》厚生連海南病院・あま市民病院・津島市民病院
津島市

《後援》海部医師会・津島市医師会
海部歯科医師会・津島市歯科医師会・津島海部薬剤師会



第3回地域医療と健康生活を守るためのシンポジウム

平成22年9月5日(日) 午後1時～3時30分 アイプラザ津島 講堂

1:00 開会

1:15 基調講演Ⅰ

テーマ:「地域医療を守りたい～住民としてできること～」

講師: 県立柏原病院の小児科を守る会代表 丹生裕子氏

2:20 基調講演Ⅱ

テーマ:「住民と医療者が守る地域小児医療—兵庫県立柏原病院小児科の事例—」

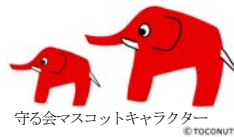
講師: 兵庫県立柏原病院小児科医長 和久祥三氏

3:30 閉会

※ 変更となる場合もあります。

【講師紹介】

・丹生裕子(たんじょう・ゆうこ)氏



県立柏原病院の小児科を守る会代表。守る会は、閉鎖の危機に瀕した柏原病院の小児科を守るため、子育て中のお母さんたちが結成したグループ。住民として出来ることを、「コンビニ受診を控えよう」「かかりつけ医を持つ」「お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう」の3つのスローガンとして掲げ、医師が働きやすい地域、今いる医師を大切にする地域を作るための活動に取り組む。医師に感謝の気持ちを伝えるための「ありがとうメッセージ」や、子育て中の母親に知ってほしい知識を伝えるための手作りの医療座談会「ママのおしゃべり救急箱」などの活動を展開している。

「県立柏原病院の小児科を守る会」ホームページ

<http://mamorusyounika.com/>



・和久祥三(わく・しょうぞう)氏

兵庫県立柏原病院小児科医長。全国的な小児科医不足により地域の小児科医が減少する中、基幹病院の医師として小児医療の継続に懸命に取り組む。柏原病院の実働医が和久医師1人となったことにより、退職の意向を表明。過酷な勤務環境の中、徹夜で患者の診療にあたる和久医師の姿を見た母親が、その実情を語ったことがきっかけとなり、県立柏原病院の小児科を守る会が結成される。守る会の活動により、退職の意向を撤回し、その後、守る会の制作した小児救急冊子に医療面での監修を行うなど、守る会と連携し小児医療の確保・充実に努める。和久医師と守る会の活動を知った医師などが集まり、現在、柏原病院の小児科は、5人の医師により診療が続けられている。



守る会と柏原病院小児科が連携し
作成した小児救急冊子

【お知らせ】

第2回シンポジウムの基調講演がクローバーテレビ(クローバーチャンネル: デジタル12ch・アナログ18ch)で放送されます。

ぜひ、ご覧ください。

平成22年8月1日～15日の間の月～木: 午後8時～9時

【問合せ先】

海南病院 総務課

(0567)65-2511